

東京大学部局横断型教育プログラム

こころの総合人間科学



こころの多様性と 適応を科学する

こころについて分野横断的に学ぶ

最先端の心理学・脳神経科学
臨床現場での精神医学・臨床心理学
社会で役立つ基礎・臨床研究

実験・演習を通じた体験を伴う理解

動物を対象とした行動・学習実験
MRIを用いた脳画像計測・解析体験
大規模データの取得・解析体験

プログラム修了者には修了証を付与

説明会

2018年 4月5日(木) 16:50 ~

東京大学 駒場 | キャンパス 13号館 1313 教室

問い合わせ先

東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構
Web: <http://plaza.umin.ac.jp/~UTIDAHM/phisem>
Email: utidahm-office@umin.ac.jp



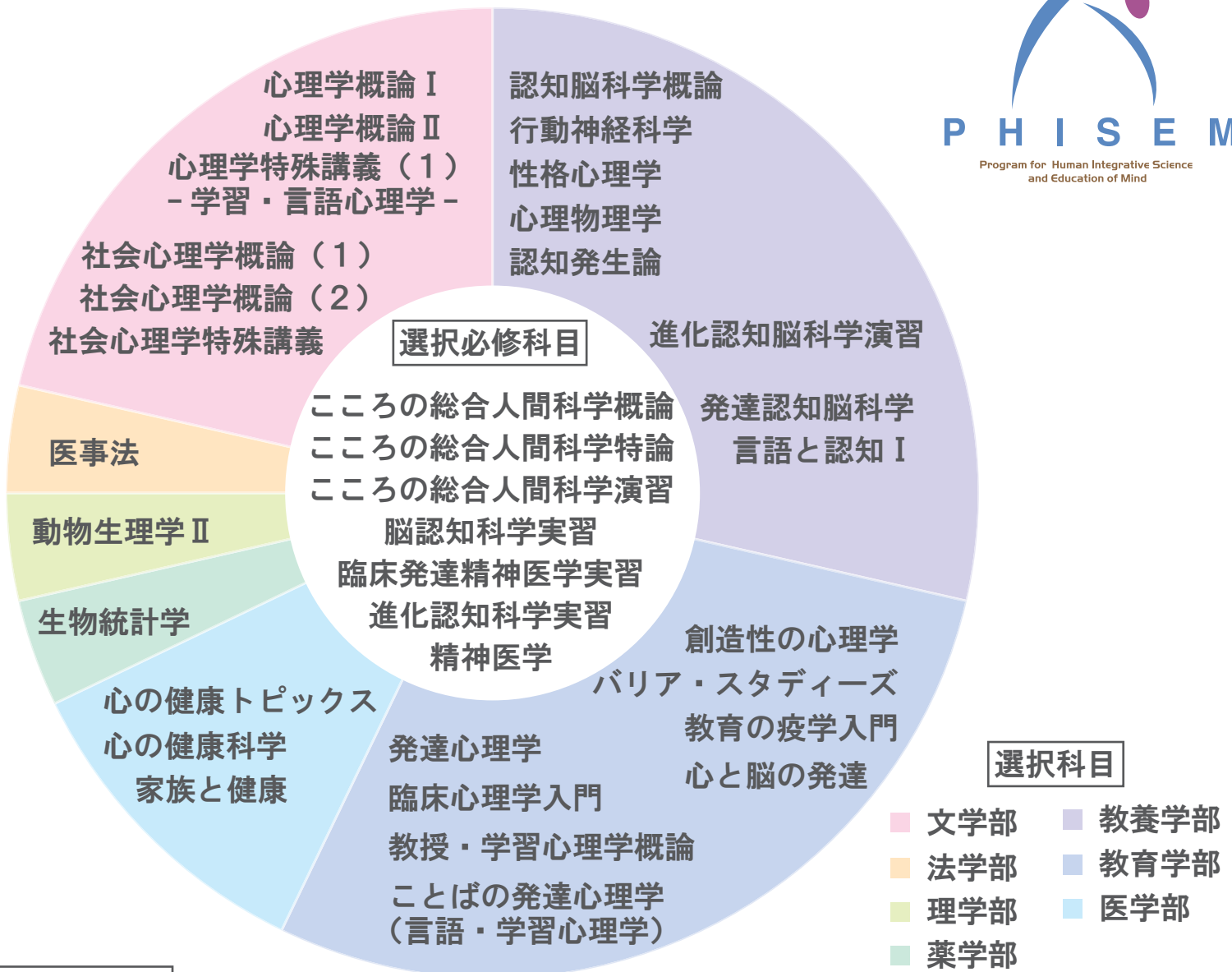
PHISEM



PHISEM_UT



東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構
UTokyo Institute for Diversity & Adaptation of Human Mind



PHISEM の概要

こころの問題は近年注目されており、うつ、発達障害、認知症といった精神医学的な視点から、いじめ、虐待などの社会問題まで、幅広くとりあげられるようになりました。

また、研究面も急速に進歩し、遺伝子改変などによる神経活動・行動変化、脳構造・機能解析、大規模コホート調査など、各分野でこころの問題の解明に向けた研究が進んでいます。

一方で、各研究分野間のつながりは、これまで十分ではありませんでした。経験や環境によって遺伝子発現が制御されたり (エピゲノム)、幼少期の環境や発達が老年期の認知症発症に関与するなど、分野をまたいだ研究が重要視されるようになってきています。神経科学者が精神医学や臨床心理学の知識と経験を必要とし、その逆もまた必要になっています。

本教育プログラムでは、学内のこころの科学に関わる教員が結集し、心理学、神経科学、実験社会科学、発達精神医学等の融合、および基礎研究と臨床研究の融合を通して、東京大学学生に対して部局を超えた最先端のこころの総合的人間科学教育を行うことを目的としています。所属学部を超えた学生同士のディスカッションを通じて、履修学生の長期的な視野の拡大を図り、こころの多様性と適応を科学できる人材の育成を目指します。

構成 本プログラムは、上記の選択必修科目および選択科目の授業からなります

対象 学部後期課程学生 (内定生含む)、大学院生
プログラム修了を目的としない個別の履修も歓迎いたします

修了要件 選択必修科目 6 単位、選択科目 6 単位 計 12 単位以上取得で修了証を交付

履修方法 所属学部 / 科で通常通りの履修手続きを行ってください
所属学部以外の科目については他部局の履修手続きを行ってください